

## アソカ講話061

テーマ「私達の施設の原型を考える③・・・自然との共生」

新規事業開設日に、久しぶりのまとまった積雪があった。雪は深々と降る。降る音のない雪は、静寂な世界を感じさせる。すべての音が無くなった世界に、ただ白い雪だけが天から降りそそぐ、そんな幻想的な気持ちになる。

共生の郷、なの花から見る田園風景も、一面雪景色に変わり、すべての世界が静寂に包まれ白に染まった。自然は時に脅威となって私達に迫ってくるが、私は、それでも自然に感謝したい。雪降る時は雪を喜び、雨降る時は雨を喜び、青空の時は青空を喜ぶ。自然は私達に必要なものを与えてくれているのだから。

菜の花は小さな花びらを集めて大きな花畑を創る。一つ一つの小さな花が互いに調和し支え合い、全体で見ると鮮やかな黄色で碧い空に映え、その存在感は圧倒的である。

自然は癒しであると同時に恵みである。私達法人の理念である自然との共生は、私達を楽しませてくれる日々変化する気候の中にもある。豊かな自然の恵みに感謝したい。

なの花・アソカから見える風景は自然があふれている。「自然に感謝する」私達の施設の原型がそこにある。